

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳少年自然の家
 所管課 教育委員会 生涯学習課
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間			委託料総額 (単位:円)	
財団法人 山梨県青少年協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	291,728,000
公益財団法人 山梨県青少年協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	486,308,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	485,434,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	381,821,328

2 施設の概要

所在地	北杜市高根町清里3545
設置年月日	昭和48年8月21日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例
設置目的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自律、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成することを目的とする。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)野外観察、自然探究その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (5)体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約44ha ○建物面積 約5,565.42㎡ ○施設の内容 ≪管理棟≫ ・講堂(200人) ・ステージ ・第1研修室(44人) ・展示室 ・図書室 ・食堂 等 ≪研修棟≫ ・第2研修室(70人) 第3研修室(30人) 第2、第3研修室オープン利用(100人) 等 ≪体育館≫ ・1階(760㎡)、2階(24㎡) ≪宿泊棟≫ ・宿泊室(小) :8室(6人用、23㎡) ・宿泊室(大) :20室(8人用、23㎡) ・浴室 等 ≪観測棟≫ ・プラネタリウム ≪キャンプ場≫ ・キャンプセンター 全4サウ
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	R4.3.14 八ヶ岳少年自然の家集約化工事(134,083千円) R4.3.22 八ヶ岳少年自然の家野外炊事場建築工事(12,117千円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	106,784,913	105,664,524	102,056,677	92,454,533	97,866,660	
支出合計	105,922,068	104,751,075	104,361,283	91,799,522	94,415,241	
収支差額	862,845	913,449	△ 2,304,606	655,011	3,451,419	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	38,830人	39,396人	37,282人	14,621人	15,328人	利用者の合計
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

令和3年度は当初から10月以降、改修工事のため利用の受入れを行わない中での運営だったが、新型コロナウイルスの拡大が6月にあり、その影響で利用を自粛した学校、団体があった。また、8月から9月にかけて、まん延防止措置等がとられた期間は休所となる等、夏休み期間の一般団体利用の多くを断ることになり、利用実績は目標値の60.8%にとどまった。

利用期間は限られた中ではあったが、令和2年度よりも本館、キャンプ場ともに利用は増加しており、感染状況が落ち着かない中ではあるが、感染症予防に努めながら利用の受入れを行った。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

施設の維持管理、運営業務は、業務仕様書や業務計画書に基づき適正に実施されており、利用者満足度の評価も高い。

一方、利用者数については平成28年度以降、40,000人を下回っており、閑散期の稼働率向上が課題となっている。施設として、閑散期の利用者拡大にむけた、八ヶ岳らしい秋・冬を楽しんでもらう魅力的な事業を実施するなど、利用者拡大のために、一層工夫していく必要があるなかで、キャンプ等の事業は定員を大幅に上回る応募があったことから、令和4年度以降は利用者ニーズに応えるためにも、開催回数を増やすよう指導した。

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用のキャンセルや延期、日帰り利用への変更等が発生したが、きめ細かい対応をしており、施設の努力がうかがえる。引き続き、子どもたちが安心して利用できるよう、利用者へ寄り添ったきめ細かい対応を期待する。

施設の老朽化のため修繕を要する箇所が多くなるが、日頃から職員が安全確保や快適な利用環境の提供を意識し、施設・設備の状態を把握したうえで、修繕が必要な場合には迅速な対応に努めるよう指示した。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

閑散期の利用者拡大への取り組みとして、令和3年度は10月以降は改修工事のため本館を利用しない主催事業を実施した。工事のため活動場所の確保が困難だったり、感染状況により中止とした事業もあったが、星空観望会はライブ中継のみとする等、できる限り実施するよう努めた。

令和4年度は閑散期の受入れが可能のため、令和2年度に新たに導入されたプログラムや令和3年度の改修工事による新設備を活かした事業を実施する予定。

令和2年度に引き続き、感染拡大予防ガイドラインに沿って利用団体の目的が達成できるよう施設運営を行った。活動場所の人数が制限される中ではあるが、感染拡大予防に努めながら施設運営を行う。

なお、施設・設備の安全管理については、引き続き安全で安心して利用できる快適な利用環境の整備と提供に努めていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳少年自然の家

所管課 教育委員会 生涯学習課

指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	宿泊棟利用	30,611	29,842	28,051	9,371	12,619
	キャンプ場宿泊利用	3,507	3,736	3,244	442	1,187
	日帰り利用	4,712	5,818	5,987	4,808	1,522
	利用者数合計	38,830	39,396	37,282	14,621	15,328
	目標値	41,900	42,800	40,829	40,931	15,352
	実績/目標割合	92.7%	92.0%	91.3%	35.7%	99.8%
	目標値の設定方法	H29年度:前年度目標値の2%増 H30年度:前年度目標値の2%増 R1年度:H26からH29年度の延べ利用者数平均の約0.25%増 R2年度:前年度目標値の約0.25%増 R3年度:R2年度の実績値(14,621)×1.05				
利用率	稼働率等(利用率)	58.7%	64.0%	63.6%	34.2%	63.3%
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べ宿泊室利用日数/利用可能宿泊日数				
利用率	稼働率等(利用率)	34.2%	41.6%	37.5%	10.7%	18.6%
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べキャンプ場利用日数/利用可能日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人
----------	---

3 補修工事等の状況(令和3年度)

(単位:円)

県	トイレ及び玄関出入り口ドア非接触化整備工事	6,820,000
県	東屋改修工事 外3件	6,175,180
管	湧水処理修繕工事	946,000
管	冒険ハイク暗夜行路改修工事	832,227
管	キャンプセンター外灯工事 外12件	2,575,144

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	公募	売上金額の25%	42,947	0

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 入	A 収入額計	106,784,913	105,664,524	102,056,677	92,454,533	97,866,660
	施設利用料	4,080,260	4,098,510	3,788,330	809,910	1,187,360
	指定管理委託料	100,149,000	99,199,000	95,196,000	90,393,328	96,245,000
	追加委託料(感染症)				858,000	
	自動販売機収入	196,105	210,902	180,998	35,097	42,947
	レストラン収入	787,881	861,615	706,761	256,417	
	事業収入(参加者負担金)	1,569,800	1,291,920	1,216,880		366,330
	その他	1,867	2,577	967,708	101,781	25,023
支 出	B 支出額計	105,922,068	104,751,075	104,361,283	91,799,522	94,415,241
	人件費	53,237,080	58,506,234	63,940,648	57,600,550	55,684,104
	修繕費	7,079,956	1,821,131	1,545,329	2,458,698	4,353,371
	光熱水費	6,945,002	7,203,076	5,577,379	3,299,701	4,053,252
	諸謝金	856,000	766,195	479,490	20,000	102,500
	旅費交通費	414,276	554,211	322,302	228,424	285,056
	消耗品費	3,966,713	4,523,276	3,226,280	3,951,383	4,717,412
	燃料費	4,602,413	5,103,717	3,391,011	2,769,056	1,126,362
	食料費	1,270,565	1,218,802	796,457	145,383	184,215
	印刷製本費	1,182,637	763,204	205,134	91,694	390,171
	通信運搬費	916,428	978,450	881,484	602,087	676,227
	保険料	354,074	371,604	326,242	194,518	230,050
	広告料	518,400		64,800		
	使用料	3,053,900	2,822,134	2,759,460	1,153,087	1,905,582
	雑費	1,670,975		1,614,522		1,447,000
	租税公課	4,422,180	4,622,018	6,027,329	6,257,225	5,273,234
	その他(支払手数料、負担金等)	117,034	228,186	207,699	336,092	141,364
	外部委託費	15,314,435	15,268,837	12,995,717	12,691,624	13,845,341
	清掃業務	5,551,200	5,551,200	6,038,586	6,093,993	6,093,985
	警備業務	414,720	414,720	405,480	409,200	409,200
	クリーニング	3,032,694	2,933,658	1,754,448	1,364,935	1,039,445
	プラネタリウム保守点検	1,090,800	1,090,800	1,102,400	1,111,000	638,000
	消防設備点検	170,106	170,106	170,785	172,458	86,229
	受水槽点検	154,440	154,440	154,440	157,300	157,300
	その他(電気設備保安業務等)	4,900,475	4,953,913	3,369,578	3,382,738	5,421,182
	外部委託比率	14.5%	14.6%	12.5%	13.8%	14.7%
	県への納付金					
	収支差額(A-B)	862,845	913,449	△ 2,304,606	655,011	3,451,419
	一人当たり指定管理者委託料*	2,579.2	2,518.0	2,553.4	6,182.4	6,279.0

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考) 自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計	1,313,074	1,535,850	1,845,850	710,550	967,750
D 支出額計	1,507,996	1,956,602	1,278,131	476,519	1,299,567
収支差額(C-D)	△ 194,922	△ 420,752	567,719	234,031	△ 331,817

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和3年4月～令和4年3月 実施方法:施設利用者へのアンケート 回答数:109団体			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①ねらいや目標の達成	75.5%	24.5%		
②施設運営	91.9%	7.0%	1.1%	
③職員対応	93.8%	5.6%	0.6%	
④活動(プログラム)	95.1%	4.9%		
⑤食堂・食事	87.3%	10.1%	2.4%	0.2%
⑥プログラム相談	80.2%	17.7%	2.1%	
施設全般の満足度	94.1%	5.9%		
利用者の主な意見	<p>【活動プログラムについて】 野外炊事の道具を班ごとに分けておいて頂くことはできないか。</p> <p>【食堂・食事関係】 2交代制で食べると食事が冷めていたのが残念だった。</p> <p>【プログラムについて】 絵図ハイクの絵図をもう少し、分かりやすいものにして頂けるとありがたい。ルートも分かりにくいところがあるので、表示なども増やして頂きたい。</p> <p>【施設運営】 事前のプログラム相談で確認した下見の日程が、下見対応不可の日であり、別日に改めて下見をすることになった。事前相談の際に、施設の方から説明が無かったため、対応してほしかった。</p> <p>【職員の対応について】 児童に分かりやすい説明をして下さり、細やかな配慮や対応も素晴らしいです。</p>			
利用者の意見への対応	<p>【活動プログラムについて】 自然の家は自律、協同、友愛、奉仕を体験しながら学ぶ施設です。施設としては、必要以上の準備というのは子供の学習機会を奪うことになってしまうため今後も炊事道具を分けることも活動の一つと捉えていただきたい。</p> <p>【食堂・食事関係】 ウィズコロナ下で少しでも温かい食事が提供できるように、食事時間や調理器具の見直しも含め食堂業者と連携しながら対応策を考えていく。</p> <p>【プログラムについて】 絵図は毎年見直しを行っており変化をできるだけ反映している。表示については当施設外のため、できる限りの対応を行う。</p> <p>【施設運営】 職員間の伝達ミスがあったので、グループウェアや職員間の連絡をこまめに取り情報共有の徹底を図っていく。</p> <p>【職員の対応について】 引き続き丁寧な対応を心がけていく。</p>			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>業務仕様書に基づいて施設の維持管理業務を行った。職員による毎日の巡回業務及び月1回の施設点検により、設備の不具合や欠陥等の早期発見に努めるとともに、軽微な修繕等については迅速に対応した。</p> <p>また、屋外の活動エリアについては、利用者が安心して安全に活動できるよう、枯枝や倒木、落石等の撤去作業を随時行うことで、事故防止に努めた。</p> <p>昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに沿って、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努め、受入を行った。</p>	<p>法定点検業務等施設の維持管理業務が、業務仕様書及び業務計画書に基づき適正に実施されている。</p> <p>施設等の老朽化により、故障や破損等により修繕を要する箇所が増えてくると思うが、専門業者の点検だけでなく、職員による定期的な巡視・点検をこれからも継続し、引き続き、利用者の安全確保に努めること。</p> <p>また利用者が安心して利用できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底すること。</p>
運営業務	<p>利用者の立場に立ち、利便性や快適性を考慮したサービスの提供に努めた。</p> <p>プログラム相談会では、それぞれの団体が考える利用の目標を達成できるよう職員が指導・助言を行った。</p> <p>主催事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら17事業のうち13事業を実施し、1,714人の参加があった。</p>	<p>利用承認や体験活動の運営業務は、業務仕様書、事業計画書に基づき適切に実施されている。</p> <p>主催事業については、定員を上回る参加者があった事業もあり、利用者のニーズを捉えた事業が実施できていると評価できる。</p> <p>今後も、利用者ニーズの把握に努めると共に、事業実施回数を増やすなど、参加者の取りこぼしがないよう努力すること。また、利用者が安心・安全に活動できるサービスの提供、施設の充実に努めること。</p> <p>事業の実施については、引き続き、新型コロナウイルス感染状況を注視し、柔軟な対応を心がけること。</p>
利用状況	<p>利用実績は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響があり、目標値には届かなかったが、昨年を上回る利用者数となった。施設側、利用者側の双方が感染症対策を講じた上で来所につながっているが、感染症の影響による6月の利用自粛や8月から9月にかけてまん延防止措置等が取られた期間の休所により、利用実績は目標値にわずかに届かなかった。</p>	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなかで、昨年度を上回る利用実績を残したことは評価に値するものの、依然として、コロナ以前の水準を下回る実績となっている。</p> <p>今後、新しい生活様式に転換していく中で、施設としてどのように利用者の増加を図るのか、より一層の工夫に期待する。</p>
収支状況	<p>収入については、上記利用状況の理由と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用料金収入は予算に対して約102万円の減収となった。</p> <p>また、支出については利用受入れ期間中のボイラーの運用方法の見直しや、冬期の光熱費の削減を徹底した運用に努めた。</p>	<p>収入が想定を下回ったことはやむを得ないものと思慮される。また利用者の減少を受けて、不要なコストをカットすることで、減収分を補う以上の支出削減に取り組んだことにより、収支差額は黒字となっている。</p> <p>今後も、サービスの質を低下させずに、優先順位を見定めたメリハリのある執行にて経費削減に努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

自主事業	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施した。	今後も事業の実施については、引き続き、新型コロナウイルス感染状況を注視し、柔軟な対応を心がけること。
利用者満足度	利用者からの指摘事項や対応状況については、朝礼や毎月の職員会議の中で確認し、職員間で情報の共有を図り、対応策を加えていった。 感染症対策を含め、引き続き、利用者の意見や要望に対して、迅速かつ丁寧な対応に努め、安全で安心できる施設運営を行う。	利用者満足度は、いずれの項目でも高い評価を得ており、利用者から寄せられる意見や要望にも的確に対応している。 特にコロナウイルス感染症対策のため、利用者への制限を設ける中での運営であったが、丁寧かつきめ細かい対応が評価につながっていると思慮される。引き続きより良いサービスの提供を期待する。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

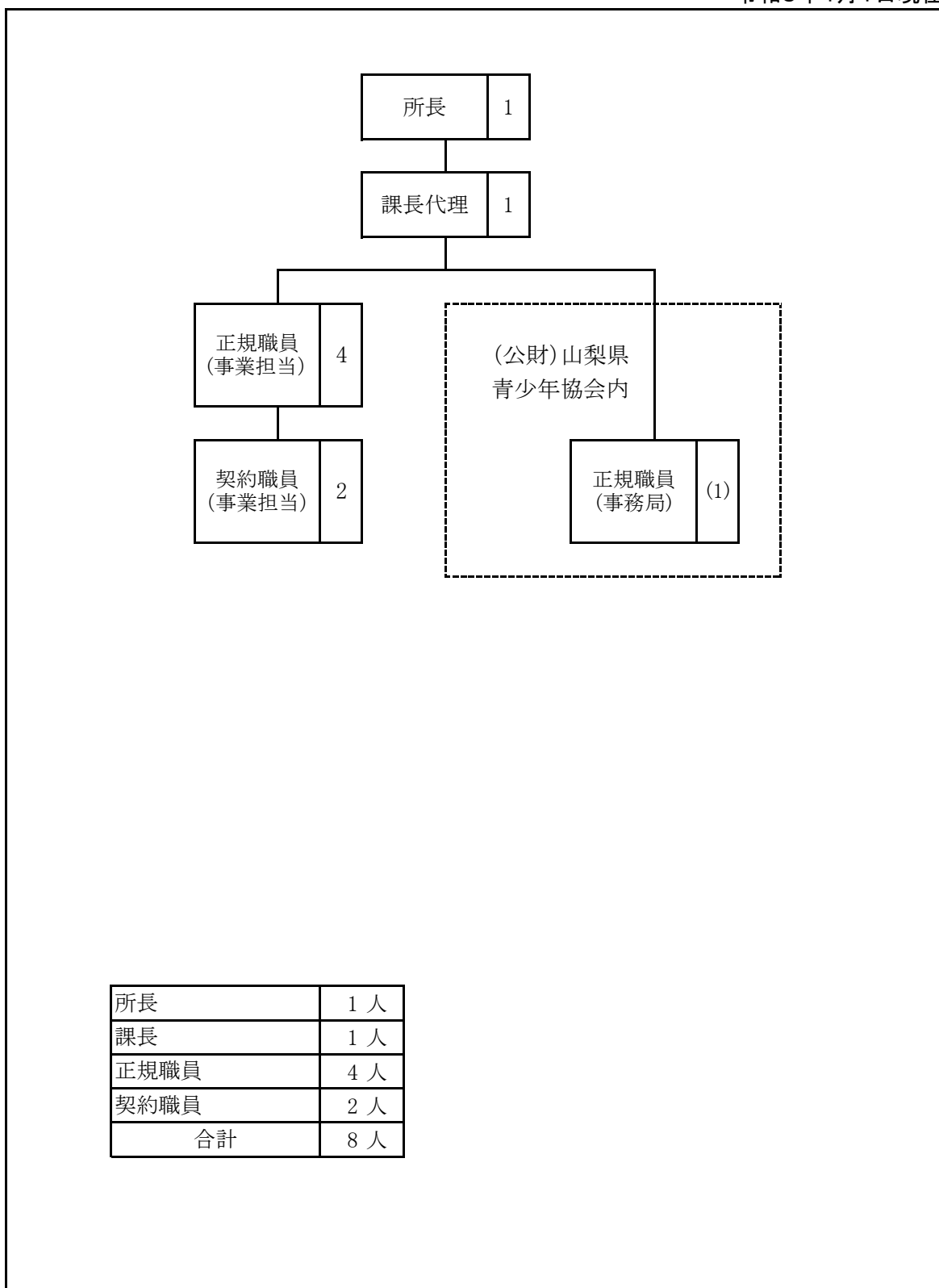
8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
体験活動プ ログラムの 開発	<p>【指標】 プログラムの開発数(既存の見直しを含む)</p> <p>【目標値】 4プログラム(既存プログラムの1/10)</p> <p>【実績】 6プログラム。目標値を上回る実績をあげた。</p>	<p>引き続き、プログラムの開発や見直しに努めること。</p>
施設の特 色・立地条 件等を生か した事業の 実施	<p>【指標】 事業数</p> <p>【目標値】 17(当初事業計画における事業数)</p> <p>【実績】 13事業。コロナウイルス感染症対策及び臨時休館の影響でやむを得ず実施できなかった事業(4事業)があったため、目標に届かなかった。</p>	<p>事業の中止はやむを得ないものであったと認められるが、開催時期を変更するなど柔軟かつ臨機応変な対応ができる体制を整えることが望ましい。</p>
少年団体指 導者等を対 象とした研 修・研究事 業の実施	<p>【指標】 研修参加者数</p> <p>【目標値】 38人(R2年度実績×1.05)</p> <p>【実績】 72人。目標値を上回る実績をあげた。</p>	<p>引き続き、研修参加者数の増加に努めること。</p>
閑散期(11 月～3月)の 利用拡大	<p>【指標】 閑散期の利用者数</p> <p>【目標値】 75人(11月～3月に実施した主催事業における、当初計画の参加者見込み数)</p> <p>【実績】 201人。目標値を上回る実績をあげた。</p>	<p>引き続き、閑散期の利用促進に努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在



所長	1 人
課長	1 人
正規職員	4 人
契約職員	2 人
合計	8 人